

令和3年度 第2回 長野市商工振興・雇用促進審議会 概要

【日時】 令和3年9月22日（水） 午前10時00分から午前10時55分まで

【場所】 長野市役所第二庁舎10階 講堂

【出席者】 委員8名（5名欠席）、事務局13名

【傍聴者】 2名

【報道関係者】 3名

1 開会

2 商工観光部長挨拶

新型コロナウイルスの感染状況は、依然予断を許さない状況ではあるが、新規感染者数が市内では減少していることから、先週13日に感染レベルがレベル5から4に引き下げられ、市内飲食店等に対する時間短縮の要請も解除となった。

市では、市内飲食店に食材等を卸している事業者や観光関連事業者への支援を開始し、現在申請を受け付けているところである。

また、販売延期していた「押し店プラチナチケット」は、来月10月9日から販売をするため、現在準備をしている。

さて、本日の議題は、前回審議会の意見を踏まえて作成した「次期長野市商工業振興・雇用促進計画の素々案について」と、働き方改革や家庭と仕事の両立支援など新たなコンセプトの施設に再編するための「勤労者福祉施設再編の方針案について」の2つを予定している。

委員の皆様にはそれぞれ専門の立場から、忌憚のない意見をお願いしたい。

3 議事

(1) 次期計画の素々案について

「資料1」、「資料2」により事務局から説明

【質疑等】

A委員：新型コロナウイルス感染症の影響がまだ続いているが、その対策について、新たな計画にはどのように盛り込む予定か。

また、計画の目標指標の中に「長野県の完全失業率」があるが、新たに取り上げた理由は何か。

事務局：新型コロナウイルスに関する内容については、「市を取り巻く情勢と課題」において、消費に関してライフスタイルの変化を踏まえ対応が必要という点、新型コロナウイルス等新たな脅威を含む自然災害への脅威に対し事業継続していくことが必要であるという点について本編に記載している。

本計画は、5年間というスパンで考えるものであるため、新型コロナウイルスへの対応という即対応しなければならない施策については、具体的な施策として記載しておらず、都度対応していくことになるものと考えている。

事務局：俯瞰できる雇用の指標ということで、完全失業率を現在想定しているが、指摘のとおり県単位での指標のため、長野市内で働きたい人誰もが働ける状況を図る、より適切な指標が他にないか、今後変更も視野に入れて現在検討している。

A委員：何かいい指標があれば提案したい。

B委員：工業分野での目標指標のうち、「スタートアップ型の企業の起業数」の昨年度の実績が1件というのは少し寂しい。スタートアップの起業や企業誘致はオンライン化の進展に伴い、どんどん進んできており、もう少しあるのではないか。

また、労働生産性の向上を図るにあたり、様々な産業に対してDXの必要性が叫ばれている。関連する目標指標としてプログラミングコンテストを上げているかと思うが、DXに関係するものとして、もっと他に適切な指標はないのか。

事務局：スタートアップ型の企業の起業数については、市がスタートアップ成長支援事業を実施するため、国から3年間交付金を受けている。実績については、当該交付金を活用した事業で、市の支援を受けた企業数のため、1件となっている。

また、DXでの指標については、これまで本市はICT産業の集積に取り組んでおり、重点的に人材育成を行うとしていることから関連する指標ということで「プログラミングコンテストの参加者数」を掲載しているものである。DXの推進について、適当な指標があればと考えているところであるが、適切なものが見当たれば掲載していきたい。

C委員：スタートアップ型の企業の起業数は市が関わったものを反映するところなるが、数字として寂しいものがある。もっと実際にはあるのではないか。商工団体が支援した実績についても入れたらどうか。検討してもらいたい。

事務局：指標については今後目標値を決めていくが、関係機関にも確認しながら表記の仕方についても検討していきたい。

～ 委員からの意見を踏まえ、事務局提案の素々案に基づき、次期計画の策定を進めていくことが了承された。～

(2) 勤労者福祉施設再編の方針案について

「資料3」により事務局から説明

【質疑等】

D委員：施設の名称については、仮称でまだ決定ではないと思うが、「勤労者」や「女性の働く」という施設名は利用者には行政的な印象を与え、違和感を持たせてしまうのではないかと考える。施設の名称に工夫が必要だと考える。施設再編後の実施事業案の中で、ワークスペース（テレワーク）とあるが、コワーキングスペースは長野市では自前で持っていないので、本施設をワークスペースとして利用できれば、先ほど課題となった創業支援と連携できると思う。

事務局：再編後の施設の名称については、現在は仮称としているが、親しみの持てるわかりやすい名称が適当だと考える。委員のご意見を参考に、継続して検討して参りたい。

ワークスペースについては、民間で少しずつ設置されている。現在設置されているワークスペースと利用者のニーズを考慮しながら、必要に応じて整備していきたい。

～ 事務局説明資料の内容のとおり、進めていくことが了承された。～

4 その他

事務局：次回の審議会は、次期計画の素案について審議するものとし、11月9日に開催を予定している。

5 閉 会